

第54回（2022年度）市民体育大会 少年の部 大会要項

1, 参加資格

稲城市内在住、在勤、在学者で構成されているチームもしくは連盟加盟団体、（名簿提出）
但し審判・本部・駐車場当番等の役割分担を引き受けられること。

2, 競技会規則（稲城市ローカルルールを多数採用している事を各自認識）

以下に特に記載のない場合は、日本サッカー協会2022/23『サッカー競技規則』
および「8人制サッカールール」の最新版に準ずる。

退場者については次の1試合のみを出場停止とする。当日中に警告累積2枚になった場合も、
次の1試合のみを出場停止とする。特別な場合を除き累積は当日のみとする。

1年生と幼児大会では特別ルールとして、明らかな待ち合わせ以外のオフサイドは反則を取らない。
1年生と幼児大会では特別ルールとして、1度目のファールスローは反則を取らず指導のみとする。

3, 試合方式と試合時間

参加チーム数により、リーグ戦、トーナメント戦、もしくはその両方の組合せで行う。

幼児 6人制 8分ハーフ（インターバル3分）

1年生 6人制 10分ハーフ（インターバル3分）

2年生 8人制 12分ハーフ（インターバル5分）

3年生 8人制 15分ハーフ（インターバル5分）

4年生 8人制 15分ハーフ（インターバル5分）

5年生 8人制 20分ハーフ（インターバル5分） 諸々の都合により変更の場合あり

6年生 8人制 20分ハーフ（インターバル5分） 諸々の都合により変更の場合あり

リーグ戦の勝点については、勝：3，引分け：1，負：0 とする。

リーグ戦の順位については、①勝点、②得失点差、③総得点、④直接対決、⑤主審によるトスの
の順により決定する。

トーナメント戦で同点の場合は、3人制のPK戦により決定する。（4人目以降はサドンデス）

4, 選手

a, 出場チームの構成は別途定めた「チーム登録条件」に基づくが、大会運営の都合上、特別枠として
少年部よりエントリーを依頼する場合がある。

b, 試合開始時に6人制では最低5人、8人制では最低7人が出場していること。

幼児と1年生においては5人制の採用も可とする。（参加全チームの同意が必要）

c, 試合中の退場者の為、6人制で5人、8人制では7人以下になった場合でも、その試合は続行する。
試合開始時にbの規定人数に達しないチームの放棄試合（不戦敗）とし、リーグ戦では不戦敗チーム
の0-5とし、勝点は-1とする。

d, 退場者は即時補充することが出来る。補充が完了するまで試合は再開してはならない。

e, ベンチ入りの選手の人数制限は設けない。交代要員はビブスなど色別可能なものを着用する。

f, FPの交代は交代ゾーンからの交代で、再入場可能な「自由な交代」とする。

g, GKの交代は主審に告げアウトオブプレー時での交代とする。この際退くGKは自身に一番近い
タッチラインかゴールラインから退場し、入場するGKは交代ゾーンから入場しなければならない。

5, グラウンドサイズとボール

- a, 別紙、学年ごとに定めたグラウンドサイズに基いて、原則全チームでグラウンド作りを行う。
- b, 1年生と幼児大会においては、PKマークは6m、FKでの距離(所謂10ヤード)は5mとする。
- c, ボールは4号認定級とし、2年生以下は0.6気圧、3年生以上は0.8気圧に調整して互いに持ち寄る。
(幼児大会では3号級の採用も認める)

6, ユニフォーム (ビブスを安易に使用しない)

- a, 原則、FP・GKともシャツ・ショーツ・ソックスの正副(濃淡)を用意し、それぞれが容易に色別できるものであること。黒のショーツ・ソックスを認める。
- b, アンダーシャツやアンダーパンツについてはチームで統一されていればユニフォームと同色でなくても良い。スネアテ止めのテープの色は問わないしチームで統一する必要はない。
- c, その試合でGKがFPになることが確実の場合に限り、GKはFPのショーツとソックスを最初から着用することを認める。
- d, ブロック大会の無い2年生以下のユニフォームに関しては規制を緩和するが、ビブスは原則不可。
- e, 修正が難しい場面が生じたら、その場の連盟審判部や少年部役員の指示を優先するが、その指示は本部役員・審判部員の統一見解とする。「人によって指示が違う」事の回避。

7, スタッフ

- a, ベンチ入りスタッフは2名以上5名以下とし、応援の父兄とは明確に分離する。
- b, ベンチ以外(特に父兄)からのプレーへの指示は禁止とする。
- c, ベンチやその近辺からの電子機器の使用は禁止(動画も静止画も撮影不可)
- d, 感染症対策など制限がある場合は別途指示する。

8, 審判 (試合の都度、稲城市サッカー連盟審判部員が観戦・指導を行う場合がある)

- a, 主審・補助審判の2人制審判法で行う。
- b, 稲城市ローカルルールとして、審判経験を積むために前後半で主審と補助審を交代しても良い。
- c, 主審は時間の管理を徹底、特にインターバルの時間(後半開始の合図の時間)を徹底する。
- d, 飲水タイムやCooling Breakの採用や天候や環境による中止の判断は、その都度試合の前に本部役員と相談の上決定し、その旨両チームに伝える。
- e, 飲水タイムは1分程度で済ませるよう両チームに促す。飲水時のコーチングや交代は認められないので、主審・補助審は協力して両チームをそれぞれ管理し注意する。
飲水が終わりポジションへ戻る際に、審判が交代選手を確認出来たら交代可能。
- f, Cooling Break中はコーチングは行っても良いが、交代は飲水タイムと同様。
- g, 3年生以上の大会では「審判報告書」を記載する。当日来場の連盟審判部員は内容を確認し、場合によっては審判報告書の記載の仕方の指導も行う。
- h, 突発的な事例が生じた場合は、その場の連盟審判部員の判断を優先とするが、他の連盟審判部員や少年部役員、及び各チームの代表者や審判員に展開し意見を統一する。

9, 大会運営担当チームの役割

- a, 各学年ごとの組合せ表を作成し、運営当番や駐車場係や検温係を決めて組合せ表に明記し、少年部MLに配信する。
- b, 組合せグループが午前と午後に分かれた場合、午前中のチームでグラウンド作り、午後のチームで後片付けを行う旨も組合せ表に記載する。
- c, 試合の都度、結果を記載した新たな組合せ表を少年部MLに配信する。
- d, 総合グラウンド利用の場合、その前の水曜日までに所定の連絡先にライン引きの依頼をする。
- e, 以下の会場への入場ルールを組合せ表に記載する。
 - * 総合グラウンドではグラウンド作りのコーチは8：30～、その他は8：45～入場可能。
入口前での開き待ち禁止。早めに来場した場合は時間まで「東側すり鉢広場」でアップ可能。
 - * 長峰VFでは基本8：30～入場可能。
 - * 南多摩スポーツ広場(南多摩Gや覆蓋G)では、連盟副会長または副会長に依頼された役員やスタッフが第1試合の90分前を目安に、川崎街道からのゲートを開錠するので、グラウンド作りのスタッフはその時間に合せて集合し、その他は第1試合の60分前から入場可能。
- f, 駐車台数制限は、その日のチーム数や他団体の有無、南多摩スポーツ広場の場合、南多摩Gと覆蓋Gの利用状況により駐車可能台数を制限するので、少年部役員が指示するが、基本的には以下の内容が基本となる。(総合Gと長峰VFは有料駐車場)
 - * 総合グラウンドの駐車場には各チーム1台のみ、他は西駐車場に駐車する(基本4台以内目安)
 - * 長峰VFではフットサル場の利用団体の車両を予測して、サッカー駐車台数を決める。
MAXでも70台ほどに押さえるのが原則。
 - * 南多摩スポーツ広場では、大会により覆蓋G倉庫前や階段下の駐車場や、F通路スペースなど大会の都度指示するが、基本はA駐車場利用を原則とする。駐車証掲示必須。

10, 試合毎に指名された運営当番チームの役割

- a, 各日2チームに運営当番を振り分けるので、以下の役割はチーム間で分担しても良い。
 - * 当日の試合進行表をA3に拡大コピーし掲示する。
 - * 空気圧系・空気入れ・WBGT計・審判用飲料水1を持参し、本部に1名常駐して審判の補佐として用具チェックや熱中症対策等の手伝いを行う。
 - * 試合進行表に試合結果と担当審判チームを記載し、終了後は少年部長に報告する。
 - * 大会終了し全チームの退出後、グラウンド状況と忘れ物などないか確認する。
- b, 南多摩スポーツ広場で使用した石灰の空き袋は運営当番チームが持ち帰る。
- c, 南多摩覆蓋Gの石灰は南多摩Gの倉庫から必要数を持って上がる。南多摩Gの石灰残が3袋以下になったら少年部長を通しサッカー連盟へ補充の依頼をする。
- d, 南多摩Gでの最後の2試合のチームの選手及びスタッフに、芝の修復の為にスパイクなどによって削られた部分に砂を入れる作業を指示し、その作業内容を確認する。
- e, 南多摩スポーツ広場においては、駐車場からの撤収とゲート施錠の確認をする。
(テニスコート利用者など他者がまだ残る場合は、サッカーが撤収する旨伝える)
- f, 南多摩Gの簡易トイレの洗浄水が少なかったら補充する。汚水タンクがいっぱいになったら、少年部長に報告し、サッカー連盟を通して市に依頼する。

11, その他

- a, 感染症対策などで観客制限が設けられた場合は、別紙対策内容に合わせ、来場者名簿を提出する。
- b, 個人で家族などと楽しむための撮影は認められるが、SNSなど不特定多数が閲覧可能なサイトに投稿や掲載をしてはならない。
- c, 観戦者から選手に対し、純粋な応援は積極的に行って良いが、戦略的指示をしてはならない。
- d, 選手に対しネガティブな発言をしてはならない。ベンチ指導者のネガティブな発言に気付いたら連盟役員もしくは連盟審判部員に伝える。報告を受けた役員や審判部員は、対象者に注意喚起し、場合によっては懲戒を与える場合がある。
- e, 南多摩スポーツ広場において、全チームそれぞれの当日の責任指導者は、チームの全員が退出したことを確認してから最後に退出すること。

過去においてチーム関係者が全て退出後に1人だけで迎えを待っている選手がおり、電話番号を聞いて、親に連絡したら親は「忘れてた」「時間を勘違いしてた」等の事例有り。

「こどもの安全確認は最後までチームの責任」を、各指導者は自覚すること。

- ## 12, この大会要項は、稲城市サッカー連盟少年部及び審判部の責任において執行します。 なお、今大会の為に回収した名簿の類は、本件の目的以外には一切使用しません。